レッスン：PYR No.81

テーマ：絶対の現れのステート/高次の諸体

PYR 81 /KE08 No.6/16/01

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

 レッスンの中で私たちは、絶対存在はそれ自身の中でそれ自身を汎宇宙的キリストロゴスとして現していると述べました。そしてこの絶対存在の現れとはいわゆるLifeの海です。そうです、Lifeの海です、そしてそれが現れの後の段階に進むと創造界および絶対存在の現れとなります。この創造界のステートにおいて、絶対存在は形を取り、それは天人という形、フォームです。そしてこの現れは、絶対存在が何であれその本質（それはLifeですが）を完全に現すための骨組みを提供します。絶対存在のこの現れは今や人間のフォーム、形を取ります。

　天人のフォームは同時に人間のフォームでもあり、それは人間のイデアを通じたLifeの現れです。そしてこの絶対存在の現れはイエスキリストロゴスです。ですから、イエスキリストロゴスは絶対存在で*あり*、同時にそれはLifeの海なのです。実際、それはまだ多重性のステートにあります、なぜなら創造界における全ての現れを活性化するLifeの全てのスパークは主（＊イエスキリストロゴス）からくるからです。

　現在のパーソナリティーとしての人間は、Lifeの個別的なスパークから来ると言いました。そして同じ事が個別的な全てのLifeについて言えます。しかしまた、Lifeは多重性というステートのなかでは一つなのです。ですから一つのアークエンジェルのLifeのスパークすらLifeの海から来るのであり、そしてそのLifeの海とは主（＊イエスキリストロゴス）、絶対存在です。

　私たちには2つの神はありません；唯一の神だけがあります、多重性というステートにおける一つの絶対存在だけがあります。そしてイエスキリストロゴスはそれ自身の現れの中における絶対存在です。

　最初にそれは汎宇宙的キリストロゴスであると言いました、しかしイエスキリストロゴスと汎宇宙的キリストロゴスは実際一つです。しかし、イエスキリストロゴスは、その仕事を達成するためにガイダンス、導きを現します…終わりなき黙想の仕事です。ですから、イエスキリストロゴスはまた黙想する存在をも意味します。勿論、私たちの最内奥のセルフ（それはスピリットセルフモナドですが）もまたこの終わりなき黙想に参加します。なぜなら、私たちの最内奥のセルフは決して絶対存在のワンネスを去ったことはないからです。決してありません。

　ですから創造の諸世界にはイエスキリストロゴスがあり、そのシンボルは絶対存在のシンボルとまったく同じです。それは三角形ですが、しかし汎宇宙的キリストロゴスを意味するそれよりも少し小さくなります。しかし、その中心は汎宇宙的キリストロゴスの頂点と一致し、そしてそのポジションでそれはその現れであり、Lifeがそれ自身を現しており、それはLifeです。

それがイエスキリストロゴスは汎宇宙的キリストロゴスの現れで*ある*、と述べる理由です。

Page2

　ですから、汎宇宙的キリストロゴスとイエスキリストロゴスは同じです；それは創造界の中で現れた絶対存在です。勿論、汎宇宙的キリストロゴスの一部はまだ、創造界にそれ自身を顕現させる前の黙想の活動の中にあります。この部分は上からみて最初の長方形に相当しますが、私たちはこの長方形のなかで起きている事については多くはわかりません。それは神のワンネスに戻った魂のセルフエピグノシスだけが知ることになるでしょう。

　さて、この長方形は生命の木における第2と第3の磔の間にあります、そして肉体との関係ではそれは生命の木において両肩の間にあります。

　現在のパーソナリティーとしての人間に関しては、それは自己実現でその現れのステートに到達するでしょう、しかしそれは自己実現のステートにおける魂のセルフエピグノシスとまったく同じではありません…それはレッスンでも述べましたが、自己実現した魂のセルフエピグノシスのみが現すことができるものです；そこではLifeの現れは同調ではなく同化を使用します。

　同化を通じた現れは、それらの波動のなかでは機能できません。皆さんが現在のパーソナリティーの三角形の境界を越えて存在の諸世界に入った時、自動的にその現れは同調ではなく同化を使い、そこからはもはやそのステートから実存の諸世界に戻ることはできません。

　さて、現在のパーソナリティーはLifeのスパークによって活性化されたものであり、Lifeの現れではありません。最初は二元性を使用しないパーソナリティーがあり、スパークの本質を完全に現しています。実際、それはスパークの現れであり、それゆえにLifeの本質を完全に現しているのです。そしてその現れは高次ノエティカル体を使用しています。しかしその現れはその本質の中に二元性を現す能力があり、再びこの現れによって活性化される現れを現す能力があります。

　そしてこの現れによって活性化される、と言うとき、現在のパーソナリティーとしてのその現れを何が活性化するのでしょうか？それは私たちが永遠のアトムと呼ぶそのスパークからの部分です；レッスンで述べましたが、自己実現した現在のパーソナリティーが使用することができるように高次ノエティカル体を提供するのは永遠のアトムである、と述べました。なぜなら、永遠のアトムの中にもLifeのスパークがあるからです。

　そして勿論、現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、現在のパーソナリティーを構成するそれらの諸体（それはノエティカル体とサイキカル体ですが）は永遠のアトムと完全にマッチするようになります。そしてその時、そのサイコノエティカル体と永遠のアトムは実際に一つであると言うことができます。そして勿論、創造界の中の全ての現在のパーソナリティーの中には神があり、神ご自身によって活性化されます。

　自己実現した現在のパーソナリティーはいわゆるキリスト意識を有し、その意味はその現在のパーソナリティーは真の本質を現すということです。それは前に述べたこととは違いがありますが、いずれにしても、一つの惑星上の全人類が自己実現に到達し、最終的に現在のパーソナリティーを意味する大きな三角形と存在の諸世界との境界線を越えるまではそうなのです。そして勿論、それは自己実現した惑星が他の惑星にいる人間達に奉仕するようになる時、それが起きるのです。

　この知識はこれまでもいくつかのレッスンで読んだことと思いますが、しかしここでもう一度聞くことによって明瞭になり、より理解できるようになるでしょう。

Q：現在のパーソナリティーが存在の諸世界に移動すると、もはや戻ることはできないと言いました。しかし、他の惑星で助けることはしないのですか？

K：その段階では、その境界は越えません、彼等はLifeの本質を現します。彼等は最初の磔の段階に到達し、実存の諸世界における現在のパーソナリティーを意味する大きな三角形をマスターしたのです。彼等は同化の能力は持ちませんが、Lifeの本質を現します。この三角形（＊下向きの大きな三角形の中にある小さな三角形）がその上の三角形（＊小さな三角形）と同一なのでそれが生じるのです。つまり、自己実現において、最初の磔においてですが、この三角形の頂点がこのように開いているなら（＊下向きの小さな三角形を折って上に向けると）このセンター（それはまた汎宇宙的キリストロゴスを意味する三角形の頂点でもあります）と一致します。

Q：絶対存在、イエスキリストロゴス絶対存在としての汎宇宙的キリストロゴスについて聞きましたが、基本的にそれらは皆同じことを意味するのに、何故そのようないろいろ異なった名前を知る必要があるのですか？

K：なぜなら、神は様々な異なった段階でそれ自身を現すからです。さもないと、絶対存在である絶対リアリティーに私たちはどのようにしてアプローチできるでしょうか？現在のパーソナリティーが神について理解するためには、このようにして分析して考える必要があるのです。全ての段階においてそれ自身の中に現れのプロセス、終わりなきプロセスがあるのです。

Q：ロゴス的現れ（＊人間の現れのこと）と言う時、それはLifeのセルが使用されていないということですか？

K：勿論、それは使われています。しかし、骨組みは活性化されておらず、それ故にそれはLifeの本質を完全には現してはいません；骨組みが活性化されていない時、元型であるLifeのイデアフォームはなく、そのフォームは天人のフォームではありません。それゆえに最初は現在のパーソナリティーの形は球形になっているのです。そして徐々にそれらの諸体は形を取るようになり；元型としての人間のイデアフォームの形を取るようになります。

　もしそのパーソナリティーが自己実現のステートに留まり、そして同時に不可視のヘルパーの仕事をすることなしに肉体を使用するなら、その肉体はいかなる病気にもならないでしょう。勿論、そういうことはありえません、なぜならそれはサイコノエティカル体を持たずに高次ノエティカル体を使用し、そしてそのステートではパーソナリティーでさえないからです。

　それゆえに、自己実現した現在のパーソナリティーが誰かにディバインの慈悲を与えるなら、それはつまりヒーリングですが、それを行うのは現在のパーソナリティーではありません。なぜなら、そのステートでそのパーソナリティーは高次ノエティカル体から与えられる能力と可能性を使用しているからであり、それはもはや現在のパーソナリティーではありません。なぜなら、主の名前において与えられるものに関して、名前のある誰もそれは自分が行ったと主張することはできないからです。ですから、あなたは“私が行った”と主張することはできません。それを行ったのは主、神だからであり、そのパーソナリティーが結果を蒙るかどうかは問題ではありません。私たちが述べたように、肉体はこの波動において霊的ヒーリングを必要としていますが、しかしそのステートでは肉体は実際主の身体なのであり、主の名前を＜使用する＞そのパーソナリティーによって提供されているのです。

Q：主の全体と言うとき、私たちは制限を設けていることになりませんか？

K：主の全体には限界がありません。絶対存在のワンネスを構成するスピリットモナドセルフには数というものがありません；レッスンのなかで説明したように。

制限、境界というものがありません。海を構成する水滴の数を数えることができますか？そして水滴とは何でしょうか？それはそれを比較する物差し次第で最大にも最小にもなることでしょう。それ故に私たちは最大のものは最小でもある、と言うのです。そして最小はまた最大かもしれないのです。

　いずれにしても、絶対存在のワンネスの多重性を認識するのは簡単ではありません。人間はそれを理解しようとします…神とは何か、絶対存在とは何か；それは目で見て、手で触れることのできるものではありません、しかし私たちは主のなかで泳ぎ、同時に主は私たちの中にいるのです。

Q：私は神という言葉は誤解を招く言葉だと思います。その言葉は神を擬人化します。

K：それは人間が主にアプローチしやすいように、そしてまた私たちが自分自身を理解し、内側に神がいることを理解できるようにするためです。私たちは神を現すことができます、自己実現した現在のパーソナリティーとしてでさえも。

Q：はい、しかし私たちの理解として、私たちの気づきの成長において、神を人として考えるという制限を取り除くべきだと思います。

Page4

K：啓発した人々はそのような制限を持たないことでしょう。結局、人間が自己実現に到達する以前に体験することができる具体的な体験の一つは、不可視のヘルパーの助けによって、形という制限のない意識の中心として輝く純白の光の中に入ることです。これは2番目のサイクルにおいてさえも、そのサイクルの最後の時に起きる可能性があります。

それは人にもより、またその人がどれだけより良いセルフを現すことに献身してきたかによります。レッスンの中で、寝ている間に不可視のヘルパーが永遠のアトムの形を整え、それによって実在の他の波動のなかで意識を持ちながら体験できるようにする、と言わなかったでしょうか？

　それはほんの数分間の出来事かもしれません、しかしその数分間の中で他の波動では多くのことが起こりえます。なぜならそれらの波動においてはそのパーソナリティーは非常に速く移動するからです。なぜなら、そこではその人は真の感覚を使用しているからです。

Q：その体験は保たれるのですか？

K：それは場合によります。それを覚えている探究者もいます。最初は、それを夢だとみなすかもしれませんが、それは実際の出来事なのです。いずれにしても、その人はその現れのステートに入る助けを与えられ、そこでは形がどんどん消えていき、肉体だけでなく物の形も消えていきます。次第に形が消えていきます、あなたは椅子や壁を通じて見ることができ、あなた自身が純白の輝く光の中にいるのを体験します。

　そのような体験によって、この宇宙論（＊エレブナのこと）から知識、体験として与えられたことを再確認することでしょう。それは自分の指で現実に触れるようなものです。勿論、4番目のサイクルでそのステートに達すると、ある程度は意識的にそうすることが可能となります。なぜならそれはLifeの能力だからです。しかし、あなたはそのようなことをする能力が与えられるでしょう。

　4番目のサイクルでは超意識的意識のセルフエピグノシスを使用します。結局、距離に関係なく全ての感覚を投射することができるようになります。それはまるでそこにいるかのようです。また誰もあなたからそれを奪うことはできないという確信を持つようになります。そしてLifeが続くことを確信するようになります。

Q：私たちは意識的および潜在意識的マインドについて話します。意識的ということは気づいているときのみであり、潜在意識的ということはたとえ気づいていなくても生きているということですか？

K：それは様々なサイクルの中で、あなたがどれだけ意識から現すかということであり、またそのサイクルのどのポジションにいるかによります。なぜなら各サイクルのスパンは長いからです。潜在意識のなかでもしあなたがロボットのように機能するなら、そこには気づきはありません。

Q：私は個人的潜在意識と汎宇宙的記憶に関して質問したのであり、気づきのレベルとしての意識の様々なレベルのことについてではありません。

K：汎宇宙的記憶、または汎宇宙的潜在意識の中にはこの創造界において起きたことが記録されています。それらは創造界における動き、出来事です。それらが人間の活動であれ、Lifeの他のフォームによるものであれ、それらはディバインの黙想における粒子です。例えば、このディバインの黙想の活動のなかで起きた出来事も実際に記録され、微細な活動も記録されます。

　潜在意識的マインドと言うとき、それらはマインドの中の記録です。手段としてのマインドです。なぜならそれらは創造の諸世界だけにおける記録だからです。そしてそれらは気づきのレベルに応じて変わります。

Q：意識的意識を現しているパーソナリティーは汎宇宙的マインドに記録されているものに同調できるのですか？

K：はい、勿論です。そのパーソナリティーはその潜在意識のマインドから投射されているものを得ることができます、それは経験的知識ではありませんが。しかし、あなたは同調と言いましたが：存在の諸世界に関して何であれ私たちが現わすもの…それがアウタルキーにおける絶対存在に関して何であれ私たちが話すこと、それは同調によるもので、経験的な知識ではありません。何であれ私たちが4つのヘブンについて関すること、それは存在の諸世界ですが、それは同調によるものです。誰もそれが体験による知識だと言うことはできません。絶対に。

Page5

Q：しかし同調もまた気づきのフィルターを通じて来るのではないのですか、そのパーソナリティーのフィルターを通して？

K：ノー、それはもはやフィルターという問題ではありません。あなたが同調を現す時、そこにはいかなるフィルターもありません。それが違いです…あなたが同調を現わしている時、それは高次ノエティカル体を使用しているということで、その時初めてあなたは同調を現すことができるのであり、それ以前は不可能です。同調は4番目のサイクルでは見いだされません、そこにはありません。同調は自己実現においてのみです。

Q：そのステートに到達する前は、あなたは何を使っていたのですか？

K：真の感覚、あなたは真の感覚を使います、なぜならあなたは超意識的意識のセルフエピグノシスを使うからです。あなたはそこでも多くの能力を持っています、自分自身を超意識的に現わしますが、しかしまだ高次ノエティカル体は使いません。

　それ故に4番目のサイクルでパーソナリティーはいわゆるサイキカルヒーリングができると述べたのです；スピリチュアルヒーリングは自己実現して初めて可能になり、その時だけです；何であれスピリチュアルヒーリングとして現されるもの、それは聖霊との共同作業として行われます…何であれ物質に関しての物質化であれ非物質化であれ。サイコノエティカル体に関しては物質化と非物質化は不必要です。物質化と非物質化は物質に関する物だけです。それゆえに不可視のヘルパーは聖霊と共同で働くと言うのです、なぜなら痛みを背負ってそれを焼くためには肉体が必要だからです。

　サイキカルヒーリングは違います。そこでは、Lifeから多くを現しているパーソナリティーだけです。そのステートではそのパーソナリティーはLifeから多くを現しており、何であれ人間を益することを行っています；そして勿論、痛みを背負うために自己実現の能力を持つ誰か他の人がいます。

レッスンPYR 81 エクササイズ　No.1

　目を閉じて静かに座り…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…白い自分自身を見、自分の形の境界を感じます…

　全てのピラミッドのヒポスタシスを与えます…四面ピラミッド、三面ピラミッド、そして五面ピラミッドを同時に…あなたはこれらのピラミッドの底面の中央に立っています…あなたは四面ピラミッドの白のサイドに向かって立っています…三面ピラミッドに関しては、ホワイトピンクとホワイトブルーのサイドによる角に面しています…そして五面ピラミッドにおいては2つのサイドによる角に面しており…五面ピラミッドの全ての輝きの色は同じです…

　これら3つのピラミッドの中にいることから来る影響に自分を開いています…これら3つの法則による影響を受け入れます…

　まったく動かなくても自分の回りを見ることができます、同時にすべての方向を見ることができます、つまりこれら3つのピラミッドからの輝きの色を全て同時に見ることができます…

　さて、五面ピラミッドはもはや存在していません…即座に何らかの影響が失われたのを感じます…今や、四面ピラミッドもありません、そしてあなたは三面ピラミッドの中にだけいます。…次に、あなたの形の感覚を与えてくれていたもう一つの影響も消えました…今あなたは意識の中心にいるかのようです…しかし、それでもあなたには形があり、同時に自分が意識の中心にいるという感覚があります…

　今や、三面ピラミッドもありません、そして今自分の形の感覚が戻ってきました…あなたは純白で、自分の形の境界を感じています、しかし、3つのピラミッドの影響による感覚、フィーリングがあります…何であれこれら3つのピラミッドがあなたに与えているものを感じます…

　今あなたが感じているこの体験がいつもあることを、そして何であれこれら3つの法則があなたに与えているものをマスターすることを願います。終わります。

レッスン PYR No.81 エクササイズNo.2

　目を閉じて静かに座り…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見、自分の

形の境界を感じます…

　深くて快適な呼吸を始めます…呼吸をする時に白いあなたにあるどんなシミ､汚れも消えていきます、なぜならあなたはどんどんより白く輝いて行くからです…息を吸う度にあなたはどんどん輝いて行き、息を吐く毎にそれらのシミが消えていきます…深くて快適な呼吸を続けます…

　今やあなたはあまりにも輝いていて、そこにあったどんなシミも消えてしまいました、そしてまるで白い輝きの光の太陽になったみたいに全ての方向に光輝いています…このステートでこのあなたの輝きが同胞である全ての人間を癒すヒーリングの光になっています…あなたはこの光を痛みを抱えている全ての人々に向けて広げ、この光の輝きのステートで全ての人々を抱きしめることができます、そしてその抱擁に意味を与えます…あなたは他の全ての同胞の人間達に関して何でも癒すヒーリングの光の太陽の輝きです…

　最愛のお方のアガピと祝福があなたに、あなたの愛する人々に、そしてあなたの家庭に、そして世界全体にあります…私たちは絶対である主に、主の聖性によって抱かれています。終わります。

EREVNA PYR No.81 /KE08 No.6/16/01